

百合樹

発行
岡山市北区祇園866
旭川荘
障害者支援施設
愛育寮
発行人 宮崎 祐子
TEL 086-275-4644
FAX 086-275-5645

<http://www.asahigawasou.or.jp/aiikuryo/>



「好きなこと」

愛育寮に勤め、早17年。利用者の皆さんと長く関わっていると、見た目の変化はお互い様ですが、利用者さんそれぞれが持っている、「好きなこと」は時代や環境とともに変化や進化はあるものの、多くが変わらないもの。それぞれの個性、これまでの人生やその人らしさも感じられる場面でもあります。紙破りが好きな人は感触や破った時の音や快感を楽しみ、また手先が器用な人は折り紙で作品作りを。また広告の箱折りを日課にされる人は誰かの役に立ちたいと毎日「コッコッ折っています」。楽器を鳴らしリズムを奏でる人、集中してパズルやペグをする人、クレヨンで鮮やかに色を重ねる人、窓から走る車を眺める人、友達と手を繋ぎ歩く人、ソファにくつろぎ、他者の動きを観察する人、テレビを観たり、音楽を聴いたり…。「好きなこと」を求め過ぐす日々を大切にしたいものです。

我が家では昨今のキャンプフォームに乗っかり、月に数回キャンプへ。日常の忙しさを忘れ、自然の中でゆっくり流れる時間、豆を挽いて淹れる珈琲、暮れていく夕陽、焚火のゆらめく炎を眺めながら空を見上げれば満天の星…★(ちよつと「クワクワ」しませんか?)もちろん天気の変化や虫対策など不便さもありますが、そんな非日常こそが私の心と身体の活力、「好きなこと」です。

(正本 裕美)

ゆうあい文化祭



て本番撮影に臨み、21人が楽しく歌って踊って盛りあがりました。左記の通り、ゆうあい文化祭がWEB開催しており、愛育寮の皆さんの踊りが、タブレット端末やパソコンからご覧いただけます。よろしければご覧ください。



今年度のテーマ曲は、一度この曲が流れると思わずテンションが上がり、皆が集まり歌い出す幅広い年齢層に親しまれている「マツケンサンバ」を選びました。9月の中旬から練習を重ね、スタッフがアレンジした振り付けを何度も練習し

衛生から コロナ シミュレーション



脱法についてトレーニングを行っています。今私たちにできる基本的な行動を地道に実践することが大切だと思います。



愛育寮では毎月1回、新型コロナウイルス対策シミュレーションを行っています。会議では「この部署で感染者が出た場合、どのように対処すれば感染者数を最小限に抑えることができるか?」について

いろいろな視点から意見を出し合って検討します。最近はシミュレーション後に個人防護員の着

リスク マネジメント 研修



10月20日にリスクマネジメント研修を17名の参加者で行いました。リスクマネジメントについての基礎知識や愛育寮での事故・ヒヤリハットから見えてくる危険性を共有し、イラストを用いた危険予知訓練を2グループに分かれて学び合いました。事故を未然に防ぐために、気付きを大切に、職員間で情報共有しながら取り組んでいきたいとの声がかれました。



健康フェスタ

10月20日にカローリング(室内カーリング)とニチレクボール(室内ペタンク)に挑戦してみました。初めてのスポーツ、初めて見る道具に皆少し戸惑い気味でしたが、的に向かってストーンを滑らせたり、ボールを投げたりして楽しめました。的に一番近付くと、拍手の中とても嬉しそうにニッコリ笑われていました。



自治会活動

10月26日に自治会活動にて「秋の清掃活動」を行いました。旭川荘周辺を歩きながらゴミ拾いを27名の利用者の方々と行い、行く道のゴミや落ち葉を拾って綺麗にしました。清掃活動終了後は外のベンチに座って、紅茶のストリートティーやカフェオレを飲んで一息つきました。



収穫「落花生」

「びいぶる」の活動で植えた落花生が収穫の時を迎えました。小春日和の青空の下、掘り起こした落花生は想像よりずっと大きく、ゴロゴロと出て来た時には大きな歓声が聞かれました。収穫した落花生は節分の際に大豆の代わりに豆まきに使えたら楽しそうです。計画をしています。

百合樹祭



11月5日、少し肌寒かったですが、雲ひとつないきれいな秋晴れの空のもと、「第41回百合樹祭」が開催されました。感染症対策でご家族やボランティアの方の来賓はありませんでしたが、利用者の皆様のたくさんの笑顔にあふれたお祭りになりました。毎年恒例の表彰式では、各棟から選ばれた表彰者の方の照れくさそうな、でも晴れやかな笑顔に出会えました。バザーでは、カレーや焼き鳥、クレープなど、これぞお祭りというメニューに会場のおちこちに満面の笑顔がありました。



アトラクション

百合樹祭アトラクションでは、ゆうあい文化祭で発表した「マツケンサンバ」の踊りの披露や、ギターと歌での「大きなのっぽの古時計」人間関係い探しなどの出し物の最後は皆で「ういじゃ」を踊って盛り上がりました！



展示

今年の展示は、和紙に絵の具をしみこませて作った「織り染め」を素材とし、各棟個性あふれる作品になりました。「皆で創る」活動ができたこと、壁三面に集結した作品を見る利用者の笑顔など、心に残る楽しい時間を過ごされました。

